

「原発大丈夫か」

地震直後身構え

「原発は大丈夫か！」。福島県いわき市の市民たちは地震直後に身構えました。

いわき市民訴訟原告の佐藤三男さんは「地震や台風が起きるたびに原発の安全を心配します。そのことが現実のものとなった気がします。精神的な負担を受けています。原発はやりません」。

相馬市在住の生業（なりわい）訴訟原告団の中島孝団長は「縦に大きく揺れてしばらく続いた。

さらに大きく揺れて大震災が起きたのではないかと

いわき市民不安の声

と思った」と地震の様子を語ります。

「また避難しなければと身構えます。東電は

『発熱量少なく今すぐ危険はない』と言っています

ですが、東日本大震災の時もそうでした。だから

『またウンだろう』と市民の多くは思っています

『また』と言いつつ、真面目に考えなくて再稼働など許

せない。強い不安をなくすためには原発依存から

全面的に撤退すべきです」といいます。

同市の相馬・新地原発事故全面賠償をさせる会

の村松孝一事務局長は「今のところ津波の被害

はありません。心配されるのは原発事故です。東

電の発表を額面どおりは受け止められません。

『ハイそうですか』とは言えない。再稼働など国

も東電も原発の近くにいる人たちの気持ちが分か

らないのか。東日本大震災の時よりも状況が危う

くなっているのではないかと不安です」と話して

います。

新日本婦人の会いわき支部の阿部節子さんは

「海辺の学校は休校になりました。給油所が混んで

います。地震の被害はないが、東電の原発の報告に

ウンがないように祈っています」と語りました。

（菅野尚夫）